



変更された夏まつり出店ブースレイアウト配置図案

日吉台夏まつり

7月30日日吉台小グラウンド



リニューアルされる「令和4年度日吉台夏まつり」は、新型コロナウイルス感染症対策を行って3年ぶりに7月30日、(雨天の場合)は31日、日吉台小学校グラウンドで開催される。

夏まつり実行委員会事務局によると、3年ぶりに開催にあたり、学区住民から運営者、出店者、イベント、パフォーマン出演者を公募、このほどまつり概要をまとめ発表した。

新型コロナウイルス警戒、3年ぶり開催へ

出店するのは13団体。ボール投げ、輪投げ、ストラックアウト、子ども向けくじ引きなどのゲームほか、かき氷、やきそば、たこやき、缶ビールなど夏まつりでおなじみの夜店、アルコールなど飲食ができるコーナーも。

イベント、パフォーマンスには、8団体が出演。ウクレレ、バンド、江州音頭盆踊り、歌唱、ダンスほか、オバサンバースがまつりオープニングとファイナルで2度出演、子どもたちから大人まで楽しめる踊りを披露、夏まつりを盛り上げてくれる。

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区
まちづくりセンター

編集責任者
野々口 義信

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書



学区ホームページ

運動会も簡略化で実施

日吉台小グラウンドで10月9日

学区自治連合会と学区スポーツ振興会は6月11日夜、日吉台市民センターで「令和4年度学区運動会」の事前協議を行い、今年の運動会について、

今年度の運動会は、コロナ対策を優先させ、実施種目は、玉入れ、ボール運びリレー、おもしろリレー、幼児走、5分間持久走、小学生リレー、買

い物競走の7種目に削減。開催時刻も午前9時または同10時から午後1時ごろまでと短くなり、会場での昼食休憩も行わない。削減種目では各丁が対抗で得点を競う運動会の花、男女混合対抗リレーは、メンバー選出が難しいとして中止、協賛金集めと閉会式での楽しみみ抽選会も取りやめる。

コロナ対策として参加者、観戦住民の把握や各丁テント内の密対策など、県のガイドラインに沿った感染症対策も運動会実行委で検討、実施する。これら種目削減、時間短縮は今年度限定のもの。来年度以降についてはどうするかはその都度考えるという。

新自治組織「まち協」検討へ

学区自治連合会提案

大津市が推奨する地域の全住民、団体が参加する新たな地域自治組織「まちづくり協議会」について、日吉台学区自治連合会は6月の定例役員会で、「協議会設置問題を調査、研究をしたい」とする自治連執行部の提案を了承した。

大津市は、越直美市長在任時代の平成29年3月、「まちづくり協議会」設

立構想を提案、正式公表した。

この時の構想は、市民センター機能改革の検討方針としてまとめられたもの。市民センターには、支所機能、公民館機能、地域自治機能、防災機能の4機能があり、4機能の課題解決に向け新地域自治組織設立構想が打ち出された。しかし、この構想は、支所の合理化案

特に支所職員の削減計画が入っていたため各学区で反対や慎重意見が相次ぎ、日吉台学区自治連合会も反対だとして検討から外した。

その後、市のまちづくり協議会設置構想は見直され、構想から支所の合理化案など市民センター機能の改革方針は姿を消し、協議会設立方針に目標を絞った案に改められ

た結果、各学区で協議が進み、令和4年4月1日現在、協議会を設置した学区は、36学区中15学区に達した。

日吉台学区は、過去にまちづくり協議会を設立、空き家対策事業、日吉台新聞編集、発行事業、野菜マルシェ事業、自治連合会改革案検討、江若バス対策などのまちづくり事業を行っていたが、市がいう「まちづくり協議会」は性質が違うもので混乱を避けるため今は「まちづくりカンパニー」として活動している。学

区自治連合会が今回、市が推奨するまちづくり協議会設立について検討するのは、支所機能の合理化案がとりあえず遠のき、他の学区の多くがすでにまち協を設立し、公民館のコミセン化などの活動をはじめ、このまちづくり協議会の運営には、メリット、デメリット、組織内容、運営の仕方、自治連合会、自治会、各組織の在り方、補助金配分など不明な部分があり、分からないことも多い。制度がどんなものか、

調査、検討からはじめることにしたもので、学区自治連合会は、学区の「まちづくりカンパニー」に調査を依頼することにしている。

細かくコロナ対策を決め、夏まつり開催に向け万全を期すことにした。

コロナ関連注意書きを了解のうえ住所、名前、連絡先を記入する入場表をあらかじめ各世帯に配布、来場者にはこの入場表を記載して持参、入場してもらう。入場は、小学校グラウンド側出入口1カ所を受け付ける。会場各所では、ゴミ処理による感染を防止するために、今回はゴミ箱、ゴミコンテナを使わず、ゴミは受

付時にわたされるレジ袋などで各自持ち帰ってもらう。このほか、出店者、出演などについてもきめ

夜間の歩行時は、明るい色の服・反射材を

下り坂走行注意

◆自然加速で速度超過
◆制動距離増加

◆終端付近見通し不良

**制限速度を守り
終端付近では最徐行**

**歩道のある道では
必ず歩道を歩きましょう**

**夜の歩行時は
明るい色の服・反射材を**

日吉台市民センターで再開された「子ども食堂」



新型コロナウイルス感染症で昨年12月から中断していた学区社会福祉協議会(呉屋之保会長)が行う「子ども食堂」は、5月28日、日吉台市民センターで、感染防止対策に注意を払い再開、開店を待ちわびた子どもたちや来場、食堂スタッフ手造りのカレーをおいしく味わった。

子どもたちに食と居場所を提供するだけでなく日吉台の住民みんなが楽しく集いふれあえる

カレーをおいしく

笑顔の子ども食堂

新型コロナウイルスは、県内で感染者が減少したとはいえ注意を払いながらの食堂再開。感染防止のパーテーション越しで、友達どうしのおしゃべりもできない食事だったが、参加した子どもたちからは、久しぶりのカレーの味に大喜び、おかわりの注文を多く、食堂スタッフ喜ばせた。

今後、子ども食堂は、コロナ感染状況をみながら6月25日、7月23日の開催予定している。

コロナ小康、活動再開

また、ウリ坊救出劇



例年子鹿やイノシシのウリ坊の救出劇が繰り広げられる高橋川上流部河川敷で、またウリ坊2頭が迷いこんでいるのが見つかり、6月11日朝、3丁目西自主防災会(岸本善春会長)の会員らが出て、近くの山へ放した。これで今年の小動物の救出劇は3回目、助けられた子鹿やウリ坊は4頭となるII写真。

現場の高橋川上流部は、北側と西側からの流れが一緒になる合流点部分。両サイドがコンクリート擁壁に囲まれ、上流部は、北側、西側とも高さ1メートルほどのコンクリート製の段差があり、この付近の河川敷に迷い込んだ子鹿などは自力脱出することは不可能。例年、子鹿やイノシシのウリ坊の迷い込みが数件あり、その都度救出劇が演じられており、迷い込み防止を図るため、何らかの対策が望まれる。

福祉委員15人に委嘱状

福祉課題解決へアンテナ役

身の回りの生活、福祉課題の解決に向け地域のアンテナ役を担う学区福祉委員委嘱状授与式が6月9日午後、日吉台市民センター大会議室で行われた。これまで各丁の組長らが兼任などで福祉委員を選んできたが今年度から市社会福祉協議会の委嘱方式に選任方法を改めこの日、8自治会合せ合せ15人に委嘱状が手渡された。

福祉委員は、地域住民の間で起きている身近な生活課題や福祉問題、困りごとなどを見守り活動や声かけ、相談などで早期発見し、学区の民生児童委員、学区社会福祉協議会、専門機関などへつなぐ地域のアンテナ役を担うボランティア。授与式で委嘱状を授与したあと市社会福祉協議会の井ノ口浩士地域福祉課長は「福祉委員は、住民同士、

子ども園は、福祉避難所として準備

今年3月、大津市から日吉台住民に配布された「土砂・洪水」「水害」「ハザードマップ」に、昨年4月開園した「日吉台至明こども園」が指定緊急避難場所兼指定避難所として掲載されていたが、

同日も園は、避難所として条件が整っておらず学区自主防災会(高村会長)は、いざという場合は、従来どおり1丁目、2丁目の住民は日吉台市民センター、3丁目、4丁目の住民は日吉台小体育館に避難して欲しい、と呼び掛けている。

同日も園は、避難所として使用できるスペースは、約70平方メートルほどのホール1カ所のみで収容人数に制限がある。このため大津市と調整を進めた結果、一般の緊急避難場所としてではなく「妊産婦及び乳幼児」に限定

3年ぶり夏休みラジオ体操

コロナリスク対策、期間短縮

日吉台青少年育成学区民会議の夢・未来事業推進委員会は6月7日、日吉台市民センターで委員

4月開園した「日吉台至明こども園」が指定緊急避難場所兼指定避難所として掲載されていたが、同日も園は、避難所として条件が整っておらず学区自主防災会(高村会長)は、いざという場合は、従来どおり1丁目、2丁目の住民は日吉台市民センター、3丁目、4丁目の住民は日吉台小体育館に避難して欲しい、と呼び掛けている。

同日も園は、避難所として使用できるスペースは、約70平方メートルほどのホール1カ所のみで収容人数に制限がある。このため大津市と調整を進めた結果、一般の緊急避難場所としてではなく「妊産婦及び乳幼児」に限定

つながる安心

お出掛けの際は スマホ・携帯を持ちましょう



お互いの信頼関係を大切に知りえた情報や秘密を守りながら無理せず、できる範囲での活動を行い、

生活課題や福祉問題、困りごとなどを見守り活動や声かけ、相談などで早期発見し、学区の民生児童委員、学区社会福祉協議会、専門機関などへつなぐ地域のアンテナ役を担うボランティア。授与式で委嘱状を授与したあと市社会福祉協議会の井ノ口浩士地域福祉課長は「福祉委員は、住民同士、

して受け入れられることになり、来年度から「指定福祉避難所」の名称に変更予定することで準備を進めている。

学区社会福祉協議会は、生活に困窮している住民に対するレトルト食品や缶詰などの「生活支援物資提供」に協力呼び掛けをしている。

支援品受け付け箱を設置している市民センターまで各自届けるか、日吉台ささえあいの会(080-145917026)へ電話をすれば学区社協の担当者を受け取りにも出向く。

困ります!そのオシッコ!!
マナーを守りましょう!

犬のトイレは適切な場所で!
※ 犬の散歩の際は、フン尿の処理ができる用意(ビニール袋、水入りペットボトル)をしましょう。

大津市動物愛護センター